

EXHIBIT "A"

實行のための會議

東朝

協力會議に後藤新議長の抱負



寫眞は語る後藤文夫氏

氏に、初めて協力會議の議長席に登る感想を聴く、火の氣もない寒寒とした演説會の議長室ではあるが、冷靜の中にも情熱を燃やす後藤さん静々の弁――

全國民の下嚮を盛上げる第二回中央協力會議を八日に控へ、この臨時國民會議の議長として、一應鐵石の決意を統制する後藤文夫

今度の協力會議は、この超非常時に臨んで、一億一心一億實行の國民的決意を高める國民家族會議だと思ふ、重大極まる秋であるから會議の集會も必ずや高まり嚴肅なものとなるであらう、臨時体制下においては論ずるだけでなく、是非實踐しようとする氣運が、ひしひしと盛り上がるのでなければならぬ

つまりこの會議こそ臨時會議の決意の凝集である、論ずべきを論ずるとともに一事でも實行することを期待したい、會議員の提案説明時間は二十分であるが、時局から多弁を避け、意味を盡して、非常時らしくテキパキと時間内にやつて置かなくては、私は東京、名古屋、大分などの地方協力會議を傍聴したが、大分などは議場はお寺の本堂で、會議は坐つて行はれ、座員はお寺に腰泊りするといふ氣合ひのかつたやり方であった、官民の呼吸がぴったりと合ひ、民間もやらせられるからやるといふのではなく、自發的にやる氣運が、この會議によつて昂められることを期待してゐる難局突破、國民の士氣天に冲するといふ風な會議になるやう統制してゆくといい



G